

6 数値目標と計画実施後の収支

具体的な方策を着実に推進するため、以下のような数値目標を掲げ、その実現に努めます。なお、平成19年度予算編成にあたって財政健全化に取り組んだ効果額も掲げました。

(1) 数値目標

ア 歳入の確保と歳出の見直し

事 項		平成19年度 取り組み額	平成22年度 数値目標
歳入の 確保	市税などの徴収率向上	6億円	市税の徴収率0.5ポイント向上などで30億円程度の効果
	保有資産の有効活用	11億円	14億円程度の効果
	公平な負担の推進	2億円	11億円程度の効果
	行政改革推進債の発行などによる財源対策	180億円	—
計		199億円	55億円程度の効果
歳出の 見直し	行政評価制度の活用などによる事務事業の見直し	73億円	平成17年度に比して全事務事業数の10%以上をシフトなどで191億円程度の見直し
	公の施設のあり方研究会の意見などを踏まえた施設の見直し		
	PFI・ESCOなどによる民間活力の積極的な活用		
	計画的な定員管理と給与などの抑制	30億円	100億円程度の見直し
	公営企業会計など他会計への財政支出の抑制	7億円	20億円程度の見直し
	外郭団体の効率的な運営	7億円	20億円程度の見直し
計		117億円	331億円程度の見直し
合 計		316億円	386億円程度の 取り組み

イ 資産と債務の適正な管理

事 項		平成22年度 数値目標
資産と 債務の 適正な 管理	特例的な市債・財源対策としての市債の発行抑制	平成22年度には行政改革推進債の発行を行わない
		市債現在高を圧縮する

(2) 計画実施後の収支試算

計画実施後の平成22年度の収支を試算すると次のとおりとなります。

計画実施前は386億円の収支不足が見込まれましたが、計画の達成により収支均衡を実現する見込みです。

(単位：億円)

区 分		平成19年度			平成22年度		
		計画実施前 A	計画実施後 B	差引（取り組み） B－A	計画実施前 C	計画実施後 D	差引（取り組み） D－C
歳入	市 税	5,161	5,167	6	5,433	5,461	28
	市 債	724	850	126	695	695	—
	そ の 他	3,706	3,773	67	3,807	3,834	27
	計	9,591	9,790	199	9,935	9,990	55
歳出	人 件 費	1,959	1,929	△ 30	1,992	1,892	△ 100
	扶 助 費	1,602	1,595	△ 7	1,683	1,666	△ 17
	公 債 費	1,480	1,480	—	1,442	1,442	—
	投資的経費	998	990	△ 8	1,148	1,129	△ 19
	そ の 他	3,868	3,796	△ 72	4,056	3,861	△ 195
	計	9,907	9,790	△ 117	10,321	9,990	△ 331
差 引 収 支		△ 316	—	316	△ 386	—	386